

臨時災害放送局FM送信装置

TD-100



カバーオープン時



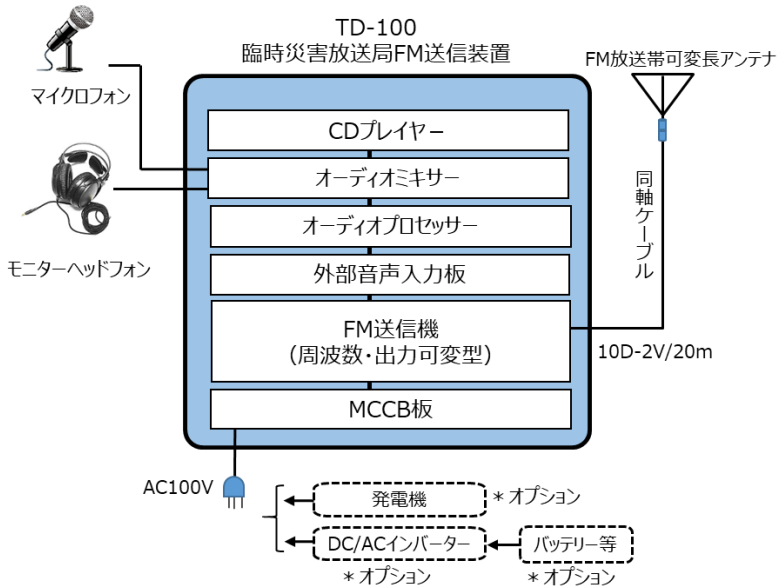
カバー収納時

概要

- 災害発生時に市町村が開設できる臨時のFM放送局用の『臨時災害放送局用FM送信装置』です。
- 臨時災害放送局とは：
『暴風、豪雨、洪水、地震、大規模な火事その他による災害が発生した場合に、その被害を軽減するために役立つこと』を目的とする放送を行う基幹放送局のことです。

特徴

- キヤスター付きの軽量・可搬型なので、災害訓練などのイベント会場に持ち運び放送局として活用できます。
- 放送に必要な付属品をすべて標準品として同梱しているため、本装置のみで放送ができます。

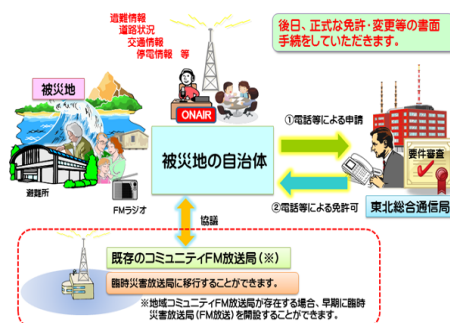


図は標準機器構成を示す
* オプション機器

仕様

周波数	76~95MHz
送信出力	10~100W
電源電圧	AC 100V±10% 50/60Hz
消費電力	500VA(100W時)
使用温度範囲	-10℃~45℃(FM送信機性能保証範囲)市販品機器除く
外形寸法	500(W)×405(H)×550(D)mm(突起物含まず)
質量	約30kg

臨時災害放送局(FM放送)の免許



出典：総務省総合通信局